

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

人工知能（AI）を用いた胸部X線読影による先天性心疾患の診断についての多施設共同研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2005年1月1日から2025年9月30日に当院循環器内科および小児循環器・成人先天性心疾患センターにおいて心房中隔欠損症と診断された方

2. 研究目的・方法

心房中隔欠損症は、小児期に気づかれず成人になってから診断される頻度が最も多い生まれたときからある心臓の病気です。若いうちは無症状のことが多いため、普段の健康診断で異常を指摘されなければ歳をとってから心不全や脳梗塞などを発症して初めて診断されます。実際に、健康診断で心房中隔欠損症が診断されず心不全の発症で始めて病院に入院される方もいます。若いうちに治療すれば健康な方と同程度の生存が期待できますが、治療しない場合は60歳までに90%が死亡すると報告されており、診断時の年齢が高くなるほど予後が悪くなります。一方で、心房中隔欠損症は微細ではありますが特徴的な胸部X線所見がいくつかあり、人工知能を用いた胸部X線読影により診断精度を高められる可能性があります。

本研究では、心房中隔欠損と診断された方と正常な方の胸部X線画像と診療情報を診療録から抽出し、主要施設である東京大学病院へデータを送付します。東京大学病院でコンピューターに胸部X線画像を学習させ、『人工知能による心房中隔欠損症の胸部X線画像読影システム』を作成します。

本システムが構築されることにより、学校健診や職場健診で行われる胸部X線検査から心房中隔欠損症を早期に発見し、本疾患の予後改善を図ることができると考えられます。

研究期間

医学研究科 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学病院病院長の研究実施許可を得てから2025年9月30日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

心房中隔欠損の方の胸部X線画像、画像撮影時の年齢、性別、心房中隔欠損症についての診療情報（欠損孔のタイプ、心臓超音波検査所見、心臓カテーテル検査所見、治療内容や転帰）

4. 外部への試料・情報の提供

前述の通り、心房中隔欠損と診断された方と正常な方の胸部X線画像と診療情報は診療録から抽出後、主要施設である東京大学病院へデータを送付されます。送付に際しては、対応表を作成して匿名化を行い、個人情報を含まない画像と診療情報とし、さらにパスワードロックした電子ファイル形式で電子メールで東京大学病院へ送付されます。

5. 研究組織

多施設共同研究 総施設数 14

主任施設：東京大学 研究責任者：小室一成

共同研究施設と各施設の責任者：

榊原記念病院循環器内科 佐地真育

順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科 宮崎彩記子

東京女子医科大学病院循環器小児科 稲井慶

慶應義塾大学医学部循環器内科 金澤英明

昭和大学病院循環器内科/小児循環器・成人先天性心疾患センター 藤井隆成

横浜労災病院循環器内科/不整脈科 増田慶太

横浜市立大学附属病院循環器内科 石川利之

北里大学病院循環器内科 小坂橋俊美

自治医科大学附属病院循環器内科 甲谷友幸

筑波大学医学医療系循環器内科 石津智子

埼玉医科大学国際医療センター心臓内科 中埜信太郎

群馬大学医学部附属病院循環器内科/総合診療部 小坂橋紀通

群馬県立心臓血管センター循環器内科 山下英治

6. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

病院名：昭和大学病院

所属：小児循環器・成人先天性心疾患センター

氏名：喜瀬 広亮

住所：〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8、 電話番号：03-3784-8000 （内線 4121 喜瀬）

研究責任者：藤井 隆成 （ふじい たかなり）

研究代表者：喜瀬 広亮 （きせ ひろあき）